

2023年(令和5年)

6月12日
No.1556

毎週月曜日発行(第5週は除く)
発行人:加藤光次郎
年間購読料 22,000円(税込)

リフォーム産業新聞

The Japan Journal of Remodeling

発行所: (株)リフォーム産業新聞社
亀岡大郎取材班グループ
本社: 104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
全国燃料会館ビル7F
TEL:03(6260)4824 FAX:03(6260)6945
暮らしをよくする、専門メディア

CONTENTS

11 塗装
成約率50%超えに3つの工夫
ひかりイベント



13 買取再販
マンション一棟まるごとリノベ
リビタ



14 中古流通
訳あり不動産を専門に8億円
ネクスウィル



15 大工育成
自社で大工育成、51人が活躍
近藤建設



17 建材
〈業務支援ツール〉
手軽なDX化で「三方よし」

18-19 新商品
360度お湯に
包まれるシャワー
LIXIL
ハイバックタイプの
深型洗面台
サンワカンパニー



20 地域有力企業
カルチャー教室、月120回開催
フィディア

安心R住宅、41%増で過去最高 制度開始から累計6900戸超え

「安心R住宅」制度の実施状況
(安心R住宅調査報告書※の提出件数)



※安心R住宅調査報告書 宅地建物取引業者(報告者)が、既存住宅について安心R住宅の基準に適合しているか調査し、その結果を記載した書面であり、住宅購入者に交付するとともに登録事業者団体に提出する報告書

国が推進している既存住宅の流通促進策「安心R住宅」制度の利用が進んでいる。2022年度の実績が公開され、流通件数は前年度比41%増加し1769件の過去最高だった。累計数は6913件となった。

マンションが7割

「安心R住宅」制度とは、既存住宅の流通の課題となっている「不安」「汚い」「わからない」といったマイナスイメージを払拭し、消費者が安心して購入できるようにする制度。制度は国土交通省が管轄し、13の登録事業者団体とその加盟企業で運用している。

認定条件は主に3つ。耐震性があり、インスペクションが行われ、中古

住宅の売買時に一定のリフォームが実施されている、もしくはリフォーム計画について情報提供が行われた既存住宅に対し、ロゴマークの使用が認められる。ロゴは物件販売時の販促に利用可能。消費者に安心感を与えることが制度の狙いだ。

前年度の1769件の内訳は、約71%が共同住宅等(リフォーム済)。これは中古のマンションをリフォームして売り出す、いわゆる「買取再販物件」だ。1262件と、前年度



安心R住宅

▲ロゴマークは物件販売時の販促に利用可能

比61%増だった。戸建て住宅(リフォーム済)は同17%増の367件で、前年度から54件増加。ともに安心R住宅の普及に力を入れている登録団体の1つが、リノベーション

協賛会(東京都渋谷区)だ。2022年度は1289件実施。その前年より486件増えた。「消費者だけでなく、既存住宅売買に携わる不動産事業者にもまだまだ正しく理解されていないのが現状です。まずは事業者者に正しい理解が進むように、研修、講習会などで繰り返し説明していきます」(同協賛会・武部裕行氏)

積水化学工業

リフォーム1100

新築鈍化でストック

積水化学工業(東京都港区)は、2025年度までの中期経営計画でリフォーム売上高を1100億円まで伸ばす方針を打ち出した。2022年度の973億円に対して13%増となる数字。営業利益は79億円に対して24%増の98億円を見込む。

同社の住宅事業全体の売上高の目標は2022年度比8%増となる5800億円。他のセグメントでは新築をメインとする住宅部門の売上高はわ



住宅カンパニー
プレジデント
神吉利幸氏



加藤敬太社長

ずか同3%増となる3750億円、営業利益は同12%増となる233億円だった。一方、不動産(ストック)部門の売上高は同20%増となる630億

新築は横ばい、 ストック分野の成長を見込む

